

国民の世論と運動で、「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

ほっかいどうの社会保障

2014年7月30日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

国民要求を反映した保育を 公的責任で

9月議会での条例制定準備 自治体・議会と懇談、要請しましょう

このままでは、子どもや保護者、保育園や労働者に被害が！

保護者の負担など国の基準が未定の部分もある中、各市町村の9月議会でも条例が決められようとしています。問題点がたくさんです。市町村とも懇談し、議会や道・国へ要請しましょう。(7月までの各地の動きです)



○札幌市～6月に保育園対象に説明会が行われました。保育園に、保護者に説明チラシも配布し説明するように依頼。チラシには「消費税10%に上げることで財源を使っている」など、10%増税を前提とする内容も含まれています。保育園には、認定保育園も含めた意向調査を行っています。保育園に対して、定員をオーバーして保育している保育数を定数し、一人当の保育園運営費は低くする提案をしています。

保育連：札幌は横浜方式で待機児童対策をすすめています。待機児童数を調整し、**企業の高架下保育園**も。交渉で問題点を指摘しましたが「基準を守っている」との回答。事業所内保育で補助金を受けたいが、連携園などハードルが高い。

子育て支援センター：子育てサロンで0～2歳児の親子交流をしています。年々増加。公立の「こども園」もあり、職員間の意思疎通や仕事の区分け等課題もあります。

- 旭川市～保育連：昨年7月に新制度で懇談。「公立4園中2園を民間委託する」
- 函館市～保育連：学童と副会長が子育て会議委員。7/31日の議論、傍聴を組織します。
- 釧路市～子ども・子育て会議委員。会議では、量の話を先行し、質の問題はこれからです。
- 小樽市～認可外で市から助成金を受けています。市は子どもが減るので統廃合しか考えていません。今後の意向調査ありません。幼稚園は9月募集なので学習会をします。私立保育所の動きはありません。
- 苫小牧市～市が保護者の就労時間を調査し、ほとんど8時間以上。「国と道の動きがわからない」という。
- 名寄市～地方財政に負担をかける制度で、市も困っています。
- 北広島市～条例はほぼ国通り。家庭的保育事業は全て有資格者、できるだけ認可で対応。市の保育士加算有。
- 七飯町～ニーズ調査6月に実施。2カ所の公立の1カ所が民間委託に、大きな「こども園」もっています。公立の子育て支援センターも作りますが、町が保育にどう責任を持つていくのか課題です。
- 音更町～認定こども園が(保育所180、幼稚園30の)210人の規模で2016年度開園。学童は民間委託の方向。
- 更別村～「行政の動きよくわからない」。アンケート調査した。公立幼稚園2園がどうなるか。

制度の問題点は、全国民間経営懇談 (<http://www.hoiku-keieikon.jp/news/2014/07/19/260>)
全国保育団体連絡会 (<http://www.hoiku-zenhoren.org/>) の資料も参照ください。

どの子にも平和と よりよい保育の保障を！ 第39回全道保育合研集会

7月5、6日、第39回全道保育団体合同研究集会が、「子どもたちの輝く笑顔をひろげるために まもろう！平和・保育・子育ての未来」をメインテーマに行われました。1日目は、伊藤千尋さんが記念講演し、「いのちをまもる、いのちをつなぐ保育園 ～新制度にもとめるもの～」などの3つの講座が行われました。2日目は、「地域と子どもの立場からみた子ども・子育て支援新制度」など8つの分科会が行われ交流しました。



「2014年度版の保育白書」(北海道保育連絡会発行 右写真・1冊1000円)が7月5日発売されました。地域と子どもの立場からみた「新制度」の特集や道内各地の保育料等の資料が載っています。